

令和4年度 維持管理の状況に関する情報（ごみ焼却処理施設）

1. 処分した一般廃棄物の各月ごとの種類及び数量

	廃棄物の種類	単 位	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
1 号炉	一般廃棄物	トン	1888.72	1292.77	0	1940.61	1696.68	1224.02	2391.67	259.29	920.59	987.37	1386.37	608.16	14596.25
2 号炉	一般廃棄物		1329.75	1554.28	2359.94	1010.17	1672.16	236.39	1470.52	1687.9	2183.05	1098.28	0	1099.87	15702.31

2.ばい煙等測定結果

測定年月日		ばいじん	窒素酸化物	硫黄酸化物		塩化水素	ダイオキシン類	燃焼ガス温度	集じん器入口 排ガス温度	排ガス中の 一酸化炭素濃 度	ガス状水銀濃度	粒子状水銀濃度	全水銀濃度
	単 位	g/m ³ N	ppm	ppm	K値	mg/m ³ N	ng-TEQ/m ³ N	℃	℃	ppm	μg/Nm ³	μg/Nm ³	μg/Nm ³
	基準値	0.080	250	—	8.00	700	5	800以上	200以下	100以下	50以下	50以下	50以下
令和4年4月28日	1号炉	0.040	71	5.0	0.02	2.0	—	—	—	—			
令和4年5月17日	2号炉	0.025	35	5.0未満	0.02未満	3.0							
令和4年6月30日	2号炉	0.021	38	5.0未満	0.03未満	7.0							
令和4年7月21日	1号炉	0.011	59	7.3	0.03	11.0					0.23	<0.002	0.23
令和4年8月26日	2号炉	0.043	54	5.0未満	0.03未満	7.0					1.4	<0.002	1.4
令和4年9月9日	1号炉	0.041	71	7.7	0.04	24.0							
令和4年10月11日	1号炉						0.33	880	194	18			
令和4年10月11日	2号炉						0.79	900	195	21			
令和4年10月28日	1号炉	0.008	51	5.1	0.02	2.2							
令和4年11月21日	2号炉	0.005	46	5.6	0.02	2.0							
令和4年12月14日	2号炉	0.035	68	5.0未満	0.02未満	1.8							
令和5年1月24日	1号炉	0.007	66	5.0未満	0.03未満	5.0					10	0.015	10
令和5年2月24日	1号炉	0.018	59	5.0未満	0.02未満	10.0					0.40	<0.002	0.40
令和5年3月20日	2号炉	0.031	78	5.4	0.03	1.0							

単位について

m³N
Nは「ノルマル」と呼び、0℃、1気圧の標準状態を表す。
1 m³Nとは、標準状態（0℃、1気圧）に換算した、1 m³のガス量を表す。

ppm（ピーピーエム）
「ピーピーエム(ppm)」は試料中の物質の量を100万分の1で表わす単位。

K値
硫黄酸化物は、排出口（煙突）の高さに応じて許容排出量を定める方式で規制され、基準値はKで表される。
K値は、政令で定める地域ごとに環境省令で定められ、K値が小さいほど厳しい基準となる。
鹿沼市のK値は8.0に定められている。

ng（ナノグラム）
「ナノグラム(ng)」は10億分の1グラムを表す重さの単位。

TEQ（毒性等量）
ダイオキシン類は種類によって毒性の強さが異なり、ダイオキシン類としての全体の毒性を評価するために、最も毒性が強いとされている「2,3,7,8-四塩化ジベンゾジオキシン（TCDD）」の毒性を1として、この毒性に比較して定められた種類ごとの係数を乗じて合計したものをいう。